

電子情報工学科（情報システムコース）
電子情報工学特別演習（プレ卒論）の評価方法（2008年度版改）

1. 電子情報工学特別演習が関係する教育・学習目標

- (A-3) 文献や種々の情報媒体を利用して情報を集め、自主的、継続的に学習できる能力。(25%)
- (C-4) 論理的な文章の記述や口頭発表により情報システムを説明する能力。(50%)
- (C-5) 与えられた制約の下で情報システムを構築するために計画的に仕事を進め、まとめる能力。(25%)

2. 評価基準と具体的な評価内容

- (A-3) 文献や種々の情報媒体を利用して情報を集め、自主的、継続的に学習できる能力。(25点)

- 01 学生は与えられた課題について、インターネットや図書館などを利用して必要な情報を収集・整理することができたか。(x₁点)

【評価方法】

- プレゼンおよびその準備過程で確認する。
⇒ 課題を与えて最後にプレゼンを行う必要がある。

- 02 学生は自主的、継続的に学習できたか。(x₂点)

【評価方法】

- 日常の学習態度、出席状況などから評価する。

$$y_1 = \frac{25}{20} \sum_{i=1}^2 x_i$$

- (C-4) 論理的な文章の記述や口頭発表により情報システムを説明する能力。(25点)

- 学生はプレゼンにおいて、課題の内容等を分かり易く説明し、質問等に対して自分の主張を正しく相手に伝えることができたか。

- 03 内容の構成、時間配分は適切か。(x₃点)

- 04 内容の分かり易さは適切か。(x₄点)

- 05 声の大きさと話すスピードは適切か。(x₅点)

- 06 質問に対して適切に対応できたか。(x₆点)

- 07 学生はプレゼンのスライドにおいて、内容の理解を助けるために適切な文や図、表を利用することができたか。(x₇点)

$$y_2 = \frac{50}{50} \sum_{i=3}^7 x_i$$

- (C-5) 与えられた制約の下で情報システムを構築するために計画的に仕事を進め、まとめる能力。(25点)

⇒ 小規模なシステム構築の課題をさせる必要がある。

- 08 教員との間で定められた種々の期限などを守ることができたか。(x₈点)
□09 学生は課題を達成するための計画を立てることができたか。(x₉点)

【評価方法】

○ 計画については、簡単な計画書を作成させて評価する。

- 10 学生は立てた計画を遂行することができたか。(x₁₀点)

【評価方法】

○ 計画通りに課題が達成できたかどうかは、プレゼンで確認する。

- 11 課題の結果に対する教員の評価。(x₁₁点)

$$y_3 = \frac{25}{40} \sum_{i=8}^{11} x_i$$

3. 評価点の基準

| | |
|------------|-----|
| まったくできなかった | 0点 |
| 不満 | 3点 |
| 少し不満 | 5点 |
| 最低限レベル | 6点 |
| 普通 | 7点 |
| 良くできた | 8点 |
| 大変良くできた | 9点 |
| 完璧 | 10点 |

4. 総合評価点

次の式で総合評価点 *score* を求める。

$$score = \sum_{i=1}^3 y_i$$

5. 成績評価

次の 2 つの条件を満たした場合のみ、総合評価点 $score$ を卒論の成績評価とする。条件の一つでも満たさなかった場合は不合格点（59 点以下）の点数を成績評価として付ける。

1. $y_1 \geq 15, y_2 \geq 30, y_3 \geq 15$
2. $score \geq 60$